

【ともに生きる社会かながわ憲章 朗読】

あれから3年の月日が経ちました。

お亡くなりになった19名の方々には、いろいろな個性を持った人生がありました。

新年会で和太鼓演奏を楽しんでいたあなた

風邪を引かないよう気をつけていたあなた

寒い冬のラーメンを楽しみにしていたあなた

家族と一緒に美味しそうにお寿司を食べていたあなた

満開の桜の中で甘酒を楽しんでいたあなた

お天気がよい日の日向ぼっこが好きだったあなた

さくらんぼ狩りを楽しんでいたあなた

行事でご家族と一緒に美味しいお弁当を食べていたあなた

小学生と二人三脚をがんばったあなた

素敵な作品作りをしていたあなた

お母様から素敵な水着をもらって喜んでいたあなた

とても我慢強くて笑顔が素敵なあなた

ジャガイモ掘りをがんばっていたあなた

夜空を彩る花火を仲間と一緒に見上げていたあなた

盆踊りの炭坑節が好きだったあなた

家族からの誕生日プレゼントを楽しみにしていたあなた

お祭りの屋台が大好きだったあなた
大晦日の年越しそばを楽しみにしていたあなた
いつもご家族と新年を迎えていたあなた

あなた方のことを、私たちは決して忘れません。

そして、この悲しみを大きな力に変えて、ともに生きる社会を実現していきます。

そうした思いを込め、「ともに生きる社会かながわ憲章」を朗読いたします。

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます